

陶都会だより

2022 年
4月 20 日発行号

習字レクにて、利用者H・S様に題目を書いていただきました。

R4.4 お花見



今年も桜の季節がやってまいりました。
コロナが落ち着かない為、大人数での移動や外でのお食事はできませんでしたが、少しでも気分転換ができた様です。施設内の桜もキレイに咲いていました。

【今月の内容】

- | | |
|------------|------------|
| ◆お花見レク | ・・・1 |
| ◆新年度挨拶 | ・・・2、3、4、5 |
| ◆農福連携事業 | ・・・6 |
| ◆多容荘 新年度挨拶 | ・・・7 |
| ◆多容荘 | ・・・8 |

陶都会オフィシャルサイト

<https://tohtokai.jp>

読み取りはこちら→





新年度 挨拶



【事務局長】



【田中良和】

「利益無くして安全無し」

これは、京セラ、KDDIの創業者である稲盛和夫さんが、JALの経営再建に関わった時の言葉です。

当時のJALには、御巣鷹山の事故以来、安全のために全ての経営資源を集中させるという考え方があり、乗客の安全こそが使命であり、利益を出すことは邪道といった雰囲気があったそうです。

安全を追求することが全てであり、利益は相反するもの。
利益については後から考えれば、帳尻を合わせればそれで良い。

航空業界と社会福祉法人は全くの異業種ですが、そこだけを切り抜くと非常に似ています。

社会福祉法人は、国からの指導としては、ソフト、ハード面の安全性を求められ、利益については、一定額以上は充実計画として執行し残してはいけないとされています。（そのため、余談になりますが、社会的に意義のある大規模なプロジェクトを行う場合は、自己資金を確保することが難しく、巨額の借入を行わなければならなくなり、必要以上にリスクを負う事になります。）

利益を考えると安全が担保できないのか？
利益を考えるとサービスの質が低下するのか？
利益は悪なのか？

そんなことはありません。むしろ、JALの件でも明らかなように利益が無ければ安全どころか企業としての成長も経営も成り立ちません。

「利益—安全」 経営のバランス感覚が大切であることは既に証明済みです。

当法人は、設立以来18年間、おかげさまで黒字経営を継続してきました。安全面につきましても、特に、この約2年間のコロナ禍においては、大規模な集団感染を起こすことなく乗り越えてきました。

2022 年度は、これまでの安全性を今後も継続するため、黒字経営により堅実に積立ててきた修繕積立金を使用し、老朽化したドリーム陶都の屋上防水工事、ボイラー設備の更新等を行い、施設入所者様により安心して快適に過ごしていただける環境を整備します。

※工事中はご不便、ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします

また、法人目標である、農福連携を起点とした法人の多角化、多機能化も推進していきます。具体的には、ドリーム陶都敷地内に地域交流カフェ、6 次化に向けた加工室を整備します。

この計画は、施設入所者様のサービス向上は勿論ですが、産学官連携、10 年後、20 年後の地域課題、社会課題、次世代の子供たちに向けての取組でもあります。

小川施設長の掲げるサーバントリーダーシップ（組織メンバーの力を最大限に発揮できるよう環境づくりに奉仕するという意味）の下、陶都会職員の衆知を集めカタチにします。

ウクライナ・ロシア情勢、コロナウイルス、いつ起こるか分からない自然災害と気の抜けない状況が続きますが、義利合一を心掛け、今年度も地に足つけた経営を行って参ります。皆様のご理解とご協力、よろしくお願いします。





新年度 挨拶



【施設長】



【小川大輔】

今年度ドリーム陶都は 19 年目を迎え、開設 20 周年までのカウントダウンに入ってきております。ご利用者様、ご家族様、並びに関係各所の皆様には多大なるご理解、ご協力、ご支援を頂いているからこそ、1 年 1 年しっかりと足元を固めながら前に進む事ができております。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

施設長として私が目指すリーダーシップはこれまでも、これからも変わりなく、『サーバントリーダーシップ』（組織のメンバーの力を最大限に発揮できるよう環境づくりに奉仕するという意味。）であり、重要視している事はボトムアップとトップダウンのバランスをどこで取るかです。

職員個々人が主役であり、職員が仕事へのやりがいを持ち、仕事だけに捉われず職員自身が自分の人生を輝けるものにしてほしい。そのような思いで職員自身が自立・自律できる仕組みづくりをしています。そういった仕事での自立・自律が実生活でも活かされ「大切な人」を、「弱者」を守る『人』になっていってくれるものだと思っています。

令和 4 年度の重点項目としましては、①ティール組織への変換②介護部の専門性の強化③キャリアラダーレベルⅢ以上の職員の自主性・積極的な事業参画・部署間連携の強化④IT の活用⑤事業展開（農福連携事業・生活困窮者就労訓練事業・社会的弱者への支援）⑥SDGs の推進となります。この重点項目を基に特養・ケアハウス・ショートステイの各事業所に於いて各部署協働で事業所単位の事業計画を作成し、そこから次年度予算まで部長・リーダーを中心に立案しました。組織は皆で作り上げるものです。一朝一夕でできるものではありません。次世代へしっかりと陶都会の理念を引き継いでいけるよう今から職員全員が事業参画しながら、学びを進めて参ります。

最後に、陶都会で尽力して頂いている職員の皆様がいてこそ、経営・運営は成り立っています。陶都会全職員の皆様に感謝申し上げます。そして、その職員を支えて下さっている、職員のご家族様にもこの場をお借りしまして感謝申し上げます。職員一人一人が人生に使命感を持ち、輝ける職場を今後も目指して参ります。

今年度も何卒宜しくお願い申し上げます。





新年度 挨拶



【常務理事】



【田中良夫】

常務理事の田中です。みなさん、2021年4月から2022年3月までの間で、自然災害がいくつあったか、ご存じでしょうか。12件ありました。地震が10件、豪雨が2件となります。

地震は、2021年5/1 宮城県沖地震、最大震度5強、10/6 青森県沖地震、最大震度5強、10/7 東京・埼玉地震、震度5強、12/3 山梨県東部・富士五湖地震、震度5弱、12/3 和歌山県北部地震、震度5弱、12/9 トカラ列島近海地震、震度5強、2022年1/4 父島近海地震、最大震度5弱、1/22 日向灘地震、最大震度5強、3/16 宮城・福島地震、最大震度6強、3/18 岩手県沖地震、最大震度5強となります。

豪雨災害の2件は、7月1～3日にかけて、神奈川県箱根市で72時間の雨量が800ミリを超え、静岡県熱海市では、土石流が発生しました。この土石流では被害棟数131棟・死者22名・行方不明5名となりました。もう1件は、8月11～16日にかけて佐賀県の嬉野市で72時間雨量が900ミリを超え、長崎県雲仙市、長崎市、佐賀県鳥栖市で72時間の雨量が800ミリを超え、多くの河川で氾濫し、その結果死者13名、負傷者16名、住家の全壊43棟・半壊1,315棟・一部破損295棟、床上浸水1,023棟、床下浸水5,527棟と大きな被害となりました。

昨年度1年間でこれだけ多くの大規模災害が発生し、生活そして命が奪われました。

ドリーム陶都は、平成30年2月16日に土岐市と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しました。福祉避難所とは、災害の際に一般避難所では、生活に支障をきたす高齢者や障害者、妊婦の方たちが過ごす避難所になります。土岐市内では、「社会福祉法人美濃陶生苑様」と「社会福祉法人土岐市社会福祉協議会様」、そして「ドリーム陶都」となります。

福祉避難所として指定されるのは、施設自体の安全性（耐震、耐火など）が確保されているとともに、手すりやスロープなどのバリアフリー化が図られ、要支援者の安全性も確保された施設となります。ただハード面が揃っているだけでは、非常災害時柔軟に対応する事はできません。いつ何時発生するかわからない災害に対して、マニュアルに準じながらも、柔軟に対応できるよう、土岐市と合同での「福祉避難所開設訓練」や、施設内でも毎年「福祉避難所開設訓練」を実施しています。ドリーム陶都の入所者様、職員的生活・命だけではなく、普段お世話になり、ご協力頂いている地域の方々の生活・命も守っていく。そのような思いで毎年訓練を実施しています。

大規模地震や風水害は我々の準備を待ってはくれません。日頃からの備え、訓練が必要です。災害が起きた時には、恐怖で体も動かないでししょうし、判断もできません。災害対策の3つの要素は「自助」「共助」「公助」です。まずはこの広報誌を読み終わりましたら「自助」ご自宅の備えは大丈夫か確認をお願い致します。

そして、万が一災害が起きた時にはこの陶都会だよりの私の言葉を思い出してください。

「ドリーム陶都に避難してください」

みんなで協力しあって、乗り越えていきましょう。今後とも宜しくお願い致します。

農福連携事業 進捗状況報告



機能訓練の一環です



洗卵作業のご様子

さくらんぼ保育園で機能訓練の一環としてアローカナの卵を磨く洗卵作業を行っています。その時のみなさんの様子です。全集中です。

“卵の呼吸孔の型、無心！”

作業の後にお散歩です！桜が満開で最高に綺麗でした。

桜と一緒に「はい、チーズ」



暖かくなりイチゴハウスでは

収穫も始まりました



利用者さまが一番楽しみにしているのがイチゴの収穫作業ではないでしょうか？イチゴ狩りができる幸せなドリーム陶都です🍓

原木椎茸の菌打ち



みなさん、お疲れさまでした。原木椎茸の収穫まで1～2年、楽しみに待っていてくださいね♪。肉厚でおいしい原木しいたけです！

スナッフエンドウ



利用者さまが収穫しやすいようポールを立てて、これから手すりをつけていきます。安全に収穫していきましょう！

トマトやキュウリ、ナスなどの夏野菜も植えています。お楽しみに！



アローカナの好物は「クローバー」です🍀





新年度 挨拶



【多容荘施設長】

新年度となり、養護老人ホーム多容荘は多治見市より陶都会へ移管・開設から、12年目を迎えました。昨年度も様々な出来事がありましたが、大過なく運営出来ましたこと、関係者皆様方、職員の皆様に先ずは心より感謝申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の終息がみえず、一昨年度と同様に入所者の皆様には外出禁止やレクリエーションなど様々な活動の自粛を余儀なくされ、入所者の皆様におかれましては、何かとストレスの多い1年となったかと思います。幸いにも入所者様、職員及び家族から感染者が出ることなく、またほぼ全ての入所者様、職員の新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を実施することができました。今後も油断することなく、感染予防対策を継続し、「ゼロコロナ」は困難と雖も、「with コロナ」「コロナとの共存」を目指し、新たな生活様式の構築で以前に近い生活が過ごせるよう、努めていきたいと思っております。

昨年度は多治見市より、11名の方が新たに措置入所されましたが、9名の方が持病の悪化、身体機能の低下などの理由により退所されました。本来多容荘は「自立」の施設ですが、現在利用中の入所者様についても、「高齢化、要介護化」が進んでいます。現在利用中の入所者の皆様におかれましては、それぞれの状況・状態に応じた「自分らしい自立した生活」が1日でも長く継続できるように、それぞれが「意識」「努力」を心掛けた生活をしていただきたいと思います。引き続き職員一同全力で、支援させていただきます。

今年度は新たな取り組みとして、自立相談支援機関のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者（引きこもりだった人、精神疾患を抱えている人などすぐに一般企業等で働くことが困難な方）に対し、その状況に応じた就労の機会を提供しながら、一般就労に向けた支援を行う生活困窮者就労訓練事業を実施します。多治見市において、この事業を必要とされる方がどれだけみえるかは分かりませんが、多治見市の福祉・介護施策の実現に向けて、微力ではありますが協力させていただきたいと思っております。今年度も変わらぬ、ご支援ご指導の程よろしくお願い致します。

養護老人ホーム多容荘 施設長 三輪 慎二

養護老人ホーム 多容荘

※写真掲載を希望されない方の顔は加工しております。

誕生日者食事会

R4.3.9 避難訓練



3月のお誕生日者は3人。大きな茶碗蒸しはうどん入り！



Happy Birthday!



非常階段までの避難訓練と、散水訓練を行いました。いざという時には、近くにあるもので頭を守りつつ安全に避難しましょう！

R4.3.23 慰霊祭



多容荘では1年に1回、春のお彼岸の時期に慰霊祭を執り行います。この1年、生活を共にした方々の中でお亡くなりになった方への哀悼の意を表して、ご焼香をあげました。



*** R3.3.21 春分の日 * ぼたもち作り ***



春分の日にはこしあんを使ったぼたもち作りをしました。秋のおはぎ作りと合わせて2回目だったこともあり、作業もはかどります！献立も山菜ごはんと田楽と季節に合わせたものをご用意しました。

